

一般前期

令和3年度

奈良県立病院機構看護専門学校

一般入学試験 問題

国語総合

注意事項

- 1 試験監督の指示があるまで問題を開いてはいけません。
- 2 試験問題は、問題1から問題18までです。試験時間は50分です。
- 3 問題冊子、解答用紙には必ず受験番号と氏名を記入し、解答用紙の受験番号欄には正確にマークしてください。
- 4 解答は、①～⑤の選択肢から正解を一つ選び、解答用紙の該当する番号をマークしてください。二つ以上マークした場合には誤りとなります。
- 5 マークは解答用紙の「マークの方法」の「良い例」のように丁寧に塗りつぶしてください。
- 6 試験中に問題の落丁・乱丁に気付いた場合は、手を挙げて試験監督に知らせてください。
- 7 問題冊子と解答用紙は回収します。室外への持ち出しは禁止します。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(問題は次のページから始まる)

第1問 次の各問いに答えよ。

問題1 次の傍線部の漢字の読み方が正しいものを一つずつ選択せよ。

(1) ① 丹精(たんしょう)して稲を育てる。

② 田舎に引越し、安穩(あんかん)な暮らしをする。

③ この夏は未曾有(みぞう)の暑さのため熱中症対策が必要だ。

④ 知り合いと視線が合って、会釈(かいしゃく)を交わした。

⑤ 彼は曾祖父の代から続く生粋(なまいき)の江戸っ子だ。

(2) ① 久遠(くおん)の理想を掲げる。

② 高台に堅固(けんこ)な城が築かれた。

③ ご逝去(いきよ)を悼む。

④ 実行キーを押下(おうげ)する。

⑤ 山海の珍味に舌鼓(ぜっこ)を打つ。

問題2 次の傍線部の漢字が正しいものを一つずつ選択せよ。

(1) ① 俳優は上映後に喝彩(げっさい)を受けた。

② 資料の体裁を整えて提出する。

③ 戦争の惨禍を目の当たりにする。

④ 寝坊したため電車事故に遭わなかった、まさに怪我の巧名だ。

⑤ 彼はレポートで級第点をつけられた。

(2) ① 雑誌に広告を掲載する。

② 摩察によって熱が生じる。

③ 敵は降参して白旗を掲げた。

④ 犯人に情状酌量の余地はない。

⑤ 斬定的にリーダーを任された。

(3) ① 彼は国王に謁見を求めた。

② 消化器の失患で入院する。

③ 壁に特殊なペンキを塗る。

④ 彼は難しい依頼を授諾した。

⑤ 携帯は現代人の必需品である。

問題3 次の傍線部と同じ漢字を使うものを一つずつ選択せよ。

(1) 彼は恵まれた境グウであることに感謝した。

① 彼女はグウ然、町で彼と会った。

② 山の中で親子の熊と遭グウした。

③ 申込書の配グウ者の欄に記入する。

④ 庭の一グウに小さな花が咲いているのを見つけた。

⑤ 昔はこの国ではグウ像崇拜が禁止されていた。

(2) 彼の一言で会議場がケン悪な雰囲気になった。

① 貯金をするために食費をケン約する。

② 小さいころからケン道を習っている。

③ なんでも経ケンしてみることが大切である。

④ この先に雪崩が起きているため危ケンだ。

⑤ この件はさらなるケン討を要する。

(3) 食品の流通機コウの近代化を図る。

① お風呂場の排水コウの掃除をする。

② 政策の大コウを公表する。

③ 遺伝子のコウ造を理解する。

④ 有名な先生がコウ演会を開いた。

⑤ 広告はコウ買意欲を高めさせる。

問題 4 次の慣用句、四字熟語または故事成語の意味として正しいものを一つずつ選択せよ。

(1) 斜に構える

- ① 物事を荒立てようとする、また争いを起こそうとすること。
- ② 物事を最初に始めて、他が続くためのきっかけを作ること。
- ③ 本当は知っているのに、知らないふりをする事。
- ④ いい加減なことを言ったりしたりして、その場をごまかすこと。
- ⑤ 物事に正面から対応せず、からかいの気持ちなどをもって臨むこと。

(2) 高を括る

- ① 大したことはないと決めて掛かって、軽く見ること。
- ② 相手のことを出し抜いて、あつと言わせること。
- ③ 他人に見られないように注意して、ひそやかに行動すること。
- ④ 臆病な者が、かげで虚勢を張って相手を非難すること。
- ⑤ どのような結果になろうともうろたえまいと、覚悟を決めること。

(3) 画竜点睛

- ① 計画に強引なところがなく、筋道をきちんと立てていること。
- ② 人材は揃っているが、統率者になるほどの人がいず、物事がうまくいかないこと。
- ③ こじれた物事をあっさりとし事に処理、解決すること。
- ④ 物事を完成するときに、最後に付け加える肝心な部分のこと。
- ⑤ かたくなで視野が狭く、柔軟性に欠けて、正しい判断ができないこと。

(4) 荒唐無稽

- ① 目的を達成するために苦勞を耐え忍ぶこと。
- ② 話がたくみでさわやかで、あかぬけていること。
- ③ いままで誰も成し遂げえなかったことを実現すること。
- ④ 冷ややかな態度で、かたわらでただ見ていること。
- ⑤ 言うことに根拠がなく、現実性に乏しいこと。

問題5 次の意味に該当する慣用句または四字熟語として正しいものを一つずつ選択せよ。

(1) 他人のよくない言動を手本にして、自分のために役立てること。

- ① 河童の川流れ
- ② 濡れ手で粟
- ③ 流れに掉さず
- ④ 覆水盆に返らず
- ⑤ 他山の石

(2) じれったくてもどかしいことや、まわりくどくて効果のないこと。

- ① 二階から目薬
- ② 急がば回れ
- ③ 脇道に逸れる
- ④ 木を見て森を見ず
- ⑤ 烏の行水

(3) うわべは丁寧で礼儀正しいが、実は尊大であること。

- ① 不倶戴天
- ② 慇懃無礼
- ③ 面従腹背
- ④ 唯唯諾諾
- ⑤ 八方美人

問題6 「エキゾチック」の意味として正しいものを一つ選択せよ。

- ① 甘美で、空想的・情緒的または情熱的であるさま。
- ② 人々の感情に強く訴え、耳目をそばだたせること。
- ③ 様子や内容が、まるで劇を見るように波瀾はげに富むさま。
- ④ 悲哀の感情におぼれやすいさま。
- ⑤ 異国の情緒・味わいを持つさま。

問題7 「領土」を意味する語句として正しいものを一つ選択せよ。

- ① コンセンサス
- ② テリトリー
- ③ コンテンツ
- ④ アライアンス
- ⑤ プライオリティー

問題8 「技量」の同意語として最も適当なものを一つ選択せよ。

- ① 方法
- ② 測定
- ③ 手腕
- ④ 絶妙
- ⑤ 技法

問題9 「軽微」の反意語として最も適当なものを一つ選択せよ。

- ① 遠大
- ② 重厚
- ③ 顕在
- ④ 濃密
- ⑤ 甚大

問題10 傍線部の言葉の使い方が正しいものを一つ選択せよ。

- ① 彼は酸いも辛いもかみ分ける人だ。
- ② 安全第一を念頭に入れて作業を行っている。
- ③ 彼は会議で常に的を射る発言をしている。
- ④ 緊急の呼び出しに取る物も取らず駆け付けた。
- ⑤ 蟻の這い入る隙も無いほど厳重な警戒網をしいている。

第2問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

芸術史家、または芸術の批評家がある個人の作品を観てそこにその作家の属している国民全体の趣味なりまたは物の見かたなり現わし方なりのある傾向が見えるというのは尤もつとな話である。しかし芸術家が製作をするに当って「おれは日本人だから日本人の趣味を現わすのだ」というようなことを意識してかかるものがあるならば、(ア)それは飛んでもない見当ちがいの話である。芸術家が製作するに臨んでは渾身こんしんただ燃ゆるが如ごとき製作欲があるばかりである。はちきれんばかりに充実しているあるものが内にあつて、ただそれに形を与えて外に現わそうとすることに向かつてのみ全意識が集中せられねばならぬ。出来上がった作品をとおして外部から見ればそこに日本人らしい何物かがあるかも知れぬ。けれどもそれは作家の関知するところではない。作家はただ自己の現わそうとするとことを現わすのみである。(A)あるいはまた作家がその国の古芸術を研究してその間から何らかの暗示を得、または一種のインスピレーションを得ることもある。そうしてその作家の作品にはおのずからその国の古代芸術の面影が現われ、あるいは一道の靈光が両者の間に相感通するとうようなところもある。(イ)、そんな詮索は批評家のすることである。作家はただ自己の求めて未だ得ざるところ、現わさんとして未だ現わし得ざるところを古芸術において暗示せられたままである。言を換えていうと自分と古芸術とが偶々たまたまどこかにおいて一つの契合点(注1)を得たのである。あるいは古芸術において自分の反映を認めたのである。(B)

製作の材料を選ぶのも同様である。例えば画家が水彩画を作る。それはその画家のその時に現わそうとすることが油絵よりもパステルよりもその他のものよりも水彩をもつて現わすことが最も適切だと感ずるからである。もし日本人の趣味には水彩画が調和するとうようなことを智力ちりきの上で判断して、それだから水彩を取るのだとうような考えがあつたならば、それは画家として最も不忠実なものである。もしくは画家たる資格のないものである。水彩画家は(ウ)そんな外部的事情のために水彩画を作るのではなからう。水彩画の生命はもつと奥深いところにあるはずである。あるいはまた彫刻家が日本人の趣味には木彫が合うとうようなことを決めて置いて、それがために大理石よりも木を選ぶとうようなことがあるならば、それもまた同様の誤謬ごびやうである。大理石に適せず、青銅に適せず、木によつて始めて適切に表現せられるものであればこそ木を選ぶべきである。製作に當つては自分の現わそうと思ふものに最も適切な形を与えようとする外、毫末こまつ(注2)も顧慮するところがあつてはならぬとうことはいうまでもあるまい。(C)

以上は芸術家の心理からいつたのであるが、もし文化史上の事実からいふならば芸術の上にも国民性とうものはある。しかし、その国民性がどんなものであるかは十分なる歴史的研究を経た上で判断せられるものであつて、ちよつとした外観などから軽卒に決めることは出来ない。日本人の趣味が淡泊たひやくだとか清楚せいそだとかいふありふれた観察に大なる欠点があるとうことは僕もかつてこの誌上で述べたことがあると記憶する。茶の湯趣味とうものが日本人の国民性に重大な關係があるように説いている人もあるが、これも怪しいものである。普通にいう茶の湯は文化の退廃期である戦国時代せんごくに形を成したもので、その時の退廢的気分のある一面に投合したものはあるが、本来趣味とうほどのものがあるのではない。そうしてそれが徳川時代に行われたのは趣味の上からではなくして別に社会上の理由がある。日本人は三十一字の歌を作つたり十七字の俳句を作つたりして喜んで

から、小さな手軽なものが好きだというような観察もあるが、これもまた疑わしいので、歌や俳句の行われる理由は別にあると思う。詳しいことをここでいう余裕はないが、(エ) 国民性というものをそう簡単に片づけてしまうことの出来ないことだけは明言して置いてよからう。まして芸術家はそういうあやふやな国民性論を念頭にかける必要があるまい。のみならず、国民性も国民の趣味も決して固定したものではない。要するにそれらは国民の実生活によって養われたものであり、国民生活の反映であるから、国民が生きている限りは生活そのものの変化と共に絶えず変化してゆくものである。それが動かないようになれば国民は死んだのである。ただその国民趣味に新しい形を与え、新しい生命を注ぎ込んでゆくのは芸術家である。芸術家は意識してそうするのではないが歴史の跡から見るとそうなっている。この点から見ても芸術家は過去の国民趣味に拘泥すべき者ではない。①

もう一つ考えると、芸術家も国民である以上、意識せずとも国民性はその人に宿っているはずであるから、どんな芸術家でもその人の真率な作品は(オ) 取りも直さず国民性の現われたものである。国民性というものが現在生きている国民の心生活の外に別にあるものではなく、そうして趣味の方面ではそれが芸術家によって表わされる。趣味の上に新しい生命を得ようとする国民の要求は絶えず新しい境地を開こうとする内的衝動となって芸術家に権化せられる。だから一心不乱に自己を表出しようとする芸術家は即ち無意識の間に国民の要求を実現させつつあるものである。知識として国民性を云々しないでも、(カ) 生きた芸術として国民性を形づくってゆくのが芸術家である。②

(注) 1 契合点 — 割り符を合わせたように、びたりと一致する点。 2 毫末 — ほんの少し。

(津田左右吉「芸術と国民性」による)

問題 11 次の文は本文の一部である。文中の(A)~(E)のうち最も適当な挿入場所を一つ選択せよ。

そうしてこの場合においても一度^{ひとた}び製作に臨んではその古芸術は全然意識の外に消えてしまわねばならぬ。

- ① (A) ② (B) ③ (C) ④ (D) ⑤ (E)

問題12 傍線部(ア)「それは飛んでもない見当ちがいの話である」とあるが、筆者がそう考える理由として最も適当なものを一つ選択せよ。

- ① 芸術の批評家は、作家の出身国の国民性を考慮したうえで作品を鑑賞するから。
- ② 作家が意識せずとも、芸術作品はその作家の祖国の国民に好まれるものになるから。
- ③ 芸術家は、心に湧く燃えたぎるような製作欲を内に秘めておくべきであるから。
- ④ 製作をする際、芸術家は表現したいものを形にすることだけを考えていけばよいから。
- ⑤ 芸術家が製作をするにあたって、特定の国の文化をテーマにすることは不適切であるから。

問題13 空所(イ)に当てはまる最も適当な語句を一つ選択せよ。

- ① その上
- ② しかし
- ③ それゆえ
- ④ なぜなら
- ⑤ すなわち

問題14 傍線部(ウ)「そんな外部的事情」とあるが、それは何か。最も適当なものを一つ選択せよ。

- ① 製作の材料
- ② 芸術の伝統
- ③ 鑑賞者の趣味
- ④ 作品の生命
- ⑤ 作家としての資格

問題15 傍線部(工)「国民性というものをそう簡単に片づけてしまうことだけは明言して置いてよからう」とあるが、筆者がそう考
える理由として最も適当なものを一つ選択せよ。

- ① 一般的に言われる国民性に当てはまらない人も存在するため。
- ② 国民性の歴史に関して、その起源にはいくつかの説があるため。
- ③ 茶の湯や俳句に国民性が反映されているという考えは間違いであるため。
- ④ 国民性は現代の国民の観察だけで判断できるものではないため。
- ⑤ 国民性がありふれた観察によって定められるのには社会上の理由があるため。

問題16 傍線部(才)「取りも直さず」は本文中でどのような意味で用いられているか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- ① それそのまま
- ② 潔く
- ③ なおその上に
- ④ 著しく
- ⑤ たちまち

問題17 傍線部(力)「生きた芸術として国民性を形づくってゆくのが芸術家である」とあるが、筆者がそう考える理由として最も適当なものを一つ
選択せよ。

- ① 芸術家は過去の国民の趣味を参考に、次なる国民趣味を日々模索しているため。
- ② 国民性とは不確かなものであり、芸術家が意識してそれを形に表していく必要があるため。
- ③ 国民の趣味や国民性は不定のものであるが、芸術家の作品は芸術家の固定観念を反映するため。
- ④ 芸術家にも国民性が宿っており、芸術家が自ら国民性を更新していくべきであるため。
- ⑤ 芸術家も国民であり、無意識のうちにもその国民が求める新たな好みを具現化しているため。

問題 18

- a ｓ dのうち、本文の内容と合致するものの組み合わせとして正しいものを一つ選択せよ。
- a 芸術家は鑑賞者の好みに合わせて製作の材料を選ぶべきではない。
- b 芸術家の心理から見ても、文化史の事実から見ても、芸術には国民性が関係している。
- c 芸術家は外部から暗示を受けたりして製作に取り掛かるべきではない。
- d 日本人の国民性とは茶道や俳句などあっさりとした趣味を持つことである。

- ① aとb
- ② aとc
- ③ bとc
- ④ bとd
- ⑤ cとd

